

互いのよさを尊重し、ぬくもりが通い合う学校、 真に子どもたちや保護者から信頼される学校づくりをすすめます

—神戸 東須磨小学校の教諭いじめ事件に関わって—

2019年10月22日、
兵庫教職員組合常任執行
委員会より、神戸市立小
学校教諭いじめ事件に関
する声明が出されたので
掲載します。

はじめに

子どもたちに「互いの違
いを尊重し、共に生きてい
くことの大切さ」を教える
べく学校で起こった複数
の教諭による特定の教諭に
対するいじめ事件。あつては
ならない言語道断の事件で、
私たちは断じて許すことがで
きません。この事件が起き
た東須磨小学校に在籍するす
べての子どもたちのことを考
えると、私たちは、兵庫県・
神戸市の教育に直接責任を負
う教職員組合として、痛恨
の思いを抱いています。

1・学校は本来、いろ
んな先生がいて互いに協
力・共同しあいながら、
全職員で教育を進めると
ころ

今、私たちは、「子ども
をどうみるか」だけでなく、
共に教育の営みを行ってい
く仲間としての「同僚をど
うみるか」が、厳しく問わ
れています。

今度の事件の加害教諭は、
そんな同僚としての教職員を
どうみていたのでしょうか。
若い同僚に対して、教師と
しての「不完全さ」や「未
熟さ」に対する思いやりは
あったのでしょうか。

学校には多様な教職員がい
ます。年齢や性別・性格だ
けでなく、得意とする教科
も、教え方も、子どもとの
接し方まで、一人ひとり違
います。同時にそれぞれの
教職員は、教師として人間
として「完全」ではありま
せん。それぞれの個性を認
め尊重し、互いに協力して、
教育にあたっているのです。
そんなぬくもりのある集団の
中でこそ、子どもたちの育
つ豊かな教育活動は生まれま
す。



2・このような問題が起
こった背景に何があるの
でしょうか

なぜ今回のような事件が起
きてしまったのでしょうか。
職場の仲間と共に教育を営む
「同僚」として尊重するこ
とができず、集団でいじめ
を起こしてしまったその背
景には、次のようなことが
考えられるのではないでしょ
うか。

第1は、成績主義・効率
主義・過度な競争主義です。
今、学校は、人事評価や学
校評価で追い詰められ、息
苦しくなっています。成績
主義・効率主義の下では、
指導の不十分さが攻撃の材料
になり、未熟さが「自己責
任」にされてしまっています。

また、全国学力テスト等に
振り回される教育委員会や学
校現場には、「教育の条理」
が弱くなっているのではな
いでしょうか。

第2は、常態化する教職
員の長時間過密労働と多忙化
です。教職員間で人間らし
いコミュニケーションの時
間が奪われ、過度なストレ
ス状態になり、そのはけ口
として「いじめ」や「攻撃」
が繰り返されていたのではな
いでしょうか。

第3は、危機管理と人権

感覚の希薄な管理職の責任で
す。今度の事件では、いじ
め行為を「職員間の人間関
係」に矮小化し、「再三指
導した」と言いますが、そ
れで済ませる人権感覚を疑わ
ざるを得ません。一人ひと
りの教職員に寄り添い、そ
の教育活動を温かく見守り励
ましていたのでしょうか。

第4は、教育の独立性に
介入する市長による「総合
教育会議」等で強まる指揮
命令・上意下達の体制です。
民主的な学校運営が侵されて
いくと、自由に物が言えぬ
ようになり、「何かおかし
い」と感じながらも声に出
せない状態になっていたの
ではないでしょうか。

3・兵庫教組はよびかけ
ます

学校は、子どもたちの成
長、発達を保障する場です。
一人ひとりの教職員は、目
の前の子どもたちの実態から
出発し、子どもたちの成長
と発達を保障するために、
日々奮闘しています。子ど
もたちが「できた」「わかっ
た」という時に見せてくれ
る笑顔や「もっとできるよ
うになりたい」という願い
を受けとめ大切にすると、そ
んな本来の学校であるために、

わたしたちはよびかけます。
悩みや困難があれば、一
人で抱え込まず、周りの仲
間を信頼し相談しましょう。
その解決のために、みんな
で知恵を出し合いましょ
う。
子どものいのちを守り、
人間として大切にされる学校
づくりをすすめていくために、
職場の仲間を「同僚」とし
て尊重し、率直に語り合う
共同のとりくみをすすめてい
きましょう。

管理職には、「民主的な
学校」「子どもと教職員が
生き生きと学び育ち合う学校」
づくりのために、職場のリー
ダーとして、その責任を果
たすことを求めます。

教育委員会には、学校が
教育の営みを豊かに創り上げ
ていくうえで大切な教育条件
整備に力を入れることを強く
求めます。また今度の問題
の原因・背景などを調査・分
析し、一日も早く学校が正
常化できるよう全力で支援し
ていくよう求めます。

私たちは、職場での共同の
とりくみをすすめて、互いの
よさを尊重し、ぬくもりが
通い合う学校、真に子ども
たちや保護者から信頼される
学校づくりのために全力を尽
くします。

泉北教組に加入して子どもと教育を守ろう！